《様式1》

【対象事業活動の実績に関する評価】

令和2年度　事業経営評価

団体名	クリアウォーターOSAKA（株）	所管所属名	建設局

中期目標

⑴ 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容

下水処理場、ポンプ場、下水管路その他の本市の下水道施設全体を総合的かつ一体的に維持管理し運営すること。

⑵ 中期目標期間

令和２年８月１日から令和４年３月31日までの１年８か月間

⑶ 中期目標の期間終了時において、⑴の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態

本市の下水道施設全体を総合的かつ一体的に維持管理し運営できる体制が確保され、当該施設が中期目標の期間を通じて安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態

当該事業年度の評価

外郭団体の自己評価

当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価

将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態をめざすための取り組み内容を含めた「CWO人材育成計画（案）」の策定に向けて、検討会議を行い、資格取得にかかる評価等の検討チームを設置し課題整理を行った。来年度に計画として策定し順次実施する予定。
また令和2年度は、当社の下水道の計画・設計及び維持管理に長年にわたる実務経験を有し、かつ技術士（上下水道部門）資格を有する課長級の監修による「資格取得研修」を4 回実施し、過去問題における出題傾向等を分析した模擬試験（各4回）を実施した結果、「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定（3種）」において、目標値を上回る合格者10名（合計）を達成することができた。

最終目標達成見込み	最終目標達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について
ア ア：順調 イ：遅れあり ウ：計画の見直し必要	・「CWO人材育成計画」について引き続き検討会議を行い、計画として策定し実施する。 ・当社においては、ベテラン技術者の定年退職が一定数生じることから、大阪市の下水道施設を安定的かつ効率的に維持管理し運営するため、今後を見据えた技術的知識の習得、現場対応力や技術継承などの取り組みは可及的速やかに行っていく必要がある。次年度（最終年度）も引き続き、有資格者やベテラン技術者の監修による「資格取得研修」を4 回実施し、「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定（3種）」において、新たな資格取得５名（合計）以上をめざし、社員の技術力と知識の向上により技術継承を途切れることがないよう行うものである。

市の評価

当該事業年度の指標及び目標に基づく評価を踏まえた本市の総合的な評価

・「人材育成計画」について課題整理が行われたが、その解決策の整理が出来次第、本市に提示されたい。
・「研修の実施」について計画どおり実施し、「新たな資格取得５名以上」について目標を上回る合格者10名を達成することが出来ており、団体の自己評価は妥当であると考える。

助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第７条第５項】（※必要な場合のみ）

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期目標の期間を通じた評価	外郭団体の自己評価	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価 ・令和2年度において、将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態をめざすための取り組み内容を含めた「CWO人材育成計画（案）」の策定に向けて、検討会議を行い、資格取得にかかる評価等の検討チームを設置し課題整理を行った。来年度に計画として策定し順次実施する予定。 ・当社においては、ベテラン技術者の定年退職が一定数生じることから、大阪市の下水道施設を安定的かつ効率的に維持管理し運営するため、今後を見据えた技術的知識の習得、現場対応力や技術継承などの取り組みは可及的速やかに行っていく必要がある。次年度（最終年度）も引き続き、有資格者やベテラン技術者の監修による「資格取得研修」を4 回実施し、「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定（3種）」において、新たな資格取得５名（合計）以上をめざし、社員の技術力と知識の向上により技術継承を途切れることがないよう行うものである。
	市の評価	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた本市の総合的な評価 ・「人材育成計画」について、将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態を目指すための取り組みは効果的なものとなるよう策定し、実施されたい。 ・年度計画に定めた研修の着実な実施により、維持管理に関する高度な技術的知識の習得が見られ、その効果として、新たな資格取得者について、中期目標においてに定めた10名を達成することが出来た。外郭団体の自己評価にあるとおり、本取り組みは可及的速やかに行っていく必要があるため、引き続き、取り組みを進めることは妥当であると考える。 助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪市外郭団体等への関与及び監理に関する条例第７条第５項】（※必要な場合のみ）

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組－１　（※分野ごとの評価）

中期計画

団体が**中期計画期間中**に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

・将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態をめざすための取り組み内容を含めた人材育成計画を立案し実施する。
・有資格者やベテラン技術者の監修による研修を4回実施することで、下水管路の維持管理に係る資格である「下水道管理技術認定」及び下水処理場・ポンプの維持管理に係る資格である「下水道技術検定（３種）」の新たな資格取得５名（合計）以上をめざす。

指標1	有資格者やベテラン技術者の監修による研修の実施			
目標値	R2目標	進捗率	R3目標	進捗率
	4回	―	4 回	―
指標2	資格取得（「下水道管理技術認定」又は「下水道技術検定（３種）」			
目標値	R2目標	進捗率	R3目標	進捗率
	5 名以上	―	5 名以上	―

年度計画達成状況　指標1

【計画】団体が**当該事業年度**に取り組む具体的な内容	【実績】団体が**当該事業年度**に取り組んだ具体的な内容
有資格者やベテラン技術者の監修による研修を4 回実施する。	当該資格取得は一般的に合格率30％程度の難易度の高いものであることから、当社の技術士資格を持った課長級監修による「資格取得研修」を4 回実施した。

【指標１】目標の達成状況

実績値	前々年実績	前年実績	R２年実績	目標達成率	達成状況
	-	-	4回	100%	a (i)

中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	《達成状況》 a：目標達成　（ｉ)取組は予定どおり実施　（ii)取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成　（ｉ)取組は予定どおり実施　（ii)取組を予定どおり実施しなかった

年度計画達成状況　指標2

【計画】団体が**当該事業年度**に取り組む具体的な内容	【実績】団体が**当該事業年度**に取り組んだ具体的な内容
中期計画で掲げている資格において合格者５名以上をめざす。	「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定（3種）」において合格者５名（合計）以上をめざし、過去問題における出題傾向等を分析した模擬試験（4回）を実施した。模擬試験後の解答には解説やワンポイントアドバイスを取り入れるなどの取り組みを行った結果、合格者10名を達成することができた。

【指標２】目標の達成状況

実績値	前々年実績	前年実績	R２年実績	目標達成率	達成状況
	-	-	10名	200%	a (i)

中期計画に対する進捗状況【当該事業年度】	ア	ア：「順調」 イ：「遅れあり」 ウ：「計画の見直し必要」	《達成状況》 a：目標達成　（ｉ)取組は予定どおり実施　（ii)取組を予定どおり実施しなかった b：目標未達成　（ｉ)取組は予定どおり実施　（ii)取組を予定どおり実施しなかった

外郭団体の自己評価

指標の達成状況	a (i)	a：目標達成　(ⅰ)取組は予定どおり進捗　(ⅱ)取組は予定どおり進捗していない b：目標全部未達成　(ⅰ)取組は予定どおり進捗　(ⅱ)取組は予定どおり進捗していない c：目標一部未達成　(ⅰ)取組は予定どおり進捗　(ⅱ)取組は予定どおり進捗していない

当該事業年度の達成状況について

・「CWO人材育成計画」の策定に向けて、検討会議を行い、資格取得にかかる評価等の検討チームを設置し課題整理を行った。来年度に計画として策定し順次実施する予定である。

・当社の有資格の課長級監修による「資格取得研修」を4 回実施し、過去問題における出題傾向等を分析した模擬試験（各4回）を実施した。模擬試験後の解答には解説やワンポイントアドバイスを取り入れるなど、丁寧な取り組みを行った結果、「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定（3種）」において、目標値を上回る合格者10名（合計）を達成することができた。

最終目標(中期計画)達成に向けた課題及び課題解消に向けた次年度以降の取組について

・「CWO人材育成計画」について引き続き検討会議を行い、計画として策定し実施する。

・当社においては、ベテラン技術者の定年退職が一定数生じることから、大阪市の下水道施設を安定的かつ効率的に維持管理し運営するため、今後を見据えた技術的知識の習得、現場対応力や技術継承などの取り組みは可及的速やかに行っていく必要がある。

　次年度（最終年度）も引き続き、有資格者やベテラン技術者の監修による「資格取得研修」を4 回実施し、「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定（3種）」において、新たな資格取得 5 名（合計）以上をめざし、社員の技術力と知識の向上により技術継承を途切れることがないよう行うものである。

市の審査

指標の達成状況	a (i)	a：目標達成　(ⅰ)取組は予定どおり進捗　(ⅱ)取組は予定どおり進捗していない b：目標全部未達成　(ⅰ)取組は予定どおり進捗　(ⅱ)取組は予定どおり進捗していない c：目標一部未達成　(ⅰ)取組は予定どおり進捗　(ⅱ)取組は予定どおり進捗していない
「様式1：中期目標(3)」に対する取組の有効性	ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

・「人材育成計画」について課題整理が行われたが、その解決策の整理が出来次第、本市に提示されたい。

・「研修の実施」について計画どおり実施し、「新たな資格取得 5 名以上」について目標を上回る合格者10名を達成することが出来ており、団体の自己評価は妥当であると考える。

「中期目標」達成の視点からみた審査結果

・「人材育成計画」について、将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態を目指すための取り組みは効果的なものとなるよう策定し、実施されたい。

・年度計画に定めた研修の着実な実施により、維持管理に関する高度な技術的知識の習得が見られ、その効果として、新たな資格取得者について、中期目標においてに定めた10名を達成することが出来た。外郭団体の自己評価にあるとおり、本取り組みは可及的速やかに行っていく必要があるため、引き続き、取り組みを進めることは妥当であると考える。

●最終年度の前年度【中期目標の期間を通じた評価】

中期計画達成状況

指標１	有資格者やベテラン技術者の監修による研修の実施				
目標値（実績値）	R2目標	R2実績	目標達成達成率	R3目標（最終目標）	目標達成進捗率
	4回	4回	100%	4 回	―

中期計画期間における具体的な取組内容（実績）

当社の有資格の課長級監修による「資格取得研修」を4 回実施し、過去問題における出題傾向等を分析した模擬試験（各4回）を実施した。

指標２	資格取得（「下水道管理技術認定」又は「下水道技術検定（３種）」				
目標値（実績値）	R2目標	R2実績	目標達成達成率	R3目標（最終目標）	目標達成進捗率
	5 名以上	10名	200%	5 名以上	―

中期計画期間における具体的な取組内容（実績）

当社の有資格課長級の監修による「資格取得研修」を4 回実施した結果、「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定（3種）」において、中期計画期間の目標値である合格者10名（合計）を達成することができた。

外郭団体の自己評価

指標の達成状況	a (i)	a：目標達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない b：目標全部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない c：目標一部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない

中期計画期間の達成状況について

・令和2年度において、将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態をめざすための取り組み内容を含めた「CWO人材育成計画（案）」の策定に向けて、検討会議を行い、資格取得にかかる評価等の検討チームを設置し課題整理を行った。来年度に計画として策定し順次実施する予定。

・当社においては、ベテラン技術者の定年退職が一定数生じることから、大阪市の下水道施設を安定的かつ効率的に維持管理し運営するため、今後を見据えた技術的知識の習得、現場対応力や技術継承などの取り組みは可及的速やかに行っていく必要がある。次年度（最終年度）も引き続き、有資格者やベテラン技術者の監修による「資格取得研修」を4 回実施し、「下水道管理技術認定」及び「下水道技術検定（3種）」において、新たな資格取得５名（合計）以上をめざし、社員の技術力と知識の向上により技術継承を途切れることがないよう行うものである。

市の審査

指標の達成状況	a (i)	a：目標達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない b：目標全部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない c：目標一部未達成　（ⅰ）取組は予定どおり進捗　（ⅱ）取組は予定どおり進捗していない
「様式1：中期目標⑶」に対する取組の有効性	ア	ア：有効であり、継続して推進 イ：有効でないため、取組を見直す

「外郭団体の自己評価」に対する審査結果

・「人材育成計画」について課題整理が行われたが、その解決策の整理が出来次第、本市に提示されたい。

・「研修の実施」について計画どおり実施し、「新たな資格取得５名以上」について目標を上回る合格者10名を達成することが出来ており、団体の自己評価は妥当であると考える。

「**中期目標**」達成の視点からみた審査結果

・「人材育成計画」について、将来にわたって安定的かつ効率的に維持管理し運営されている状態を目指すための取り組みは効果的なものとなるよう策定し、実施されたい。

・年度計画に定めた研修の着実な実施により、維持管理に関する高度な技術的知識の習得が見られ、その効果として、新たな資格取得者について、中期目標においてに定めた10名を達成することが出来た。外郭団体の自己評価にあるとおり、本取り組みは可及的速やかに行っていく必要があるため、引き続き、取り組みを進めることは妥当であると考える。